

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（1年次用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象年次組： 第 1 年次 1 組～ 6 組

教科担当者： （1組：川又） （2組：川又） （3組：川又） （4組：津川） （5組：津川） （5組：津川）

使用教科書： （ 歴史704 歴史総合（実教出版） ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】各地の地域的特色や歴史的展開について理解するとともに、地図や統計、史料を読み取る力

【思考力、判断力、表現力等】事象の意味や特色、相互の関連を、多面的、多角的に考察したり、課題解決を構想したりする力

【学びに向かう力、人間性等】持続可能な社会の実現に向けて、自ら主体的に授業や社会に関わろうとする力

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	歴史の歴史 【知識及び技能】 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中学校社会科における学習の成果を生かし、主体的に理解を深めようとする。	・オリエンテーション ・教科書、演習ノート、資料集	【知識・技能】 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中学校社会科における学習の成果を生かし、主体的に理解を深めることができる。	○	○	○	1
	近代化への問い 【知識及び技能】 ・諸資料から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・諸資料を活用して、近代化にともなう生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料から興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとする。	・諸資料の読み取り、考察 ・教科書、演習ノート、資料集	【知識・技能】 ・諸資料から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけることができる。 【思考・判断・表現】 ・諸資料を活用して、近代化にともなう生活や社会の変容について考察し、問いを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸資料から興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだすことができる。	○	○	○	1
	第1章近代化への胎動 【知識・技能】 ・18世紀の世界と日本との貿易や国際関係に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解する。 【思考・判断・表現】 ・18世紀の世界と日本との貿易や国際関係の問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基いて思考し、一つの視点を基に判断・表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・18世紀の世界と日本との貿易や国際関係の問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとする。	・幕藩体制 ・田沼政治、寛政の改革 ・天保の改革 ・教科書、演習ノート、資料集	【知識・技能】 ・18世紀の世界と日本との貿易や国際関係に関する基本的な知識を、複数の史・資料を活用し理解できる。 【思考・判断・表現】 ・18世紀の世界と日本との貿易や国際関係の問いに対して、歴史的なものの見方・考え方に基いて思考し、一つの視点を基に判断・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・18世紀の世界と日本との貿易や国際関係の問いに対して、粘り強く自らの答えを出そうとすることができる。	○	○	○	6
	第2章欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 【知識・技能】 ・18世紀とその前後の世界の経済と社会を理解しようとする。 【思考・判断・表現】 ・18世紀とその前後の世界の経済と社会を多面的・多角的に考察し、表現しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・18世紀とその前後の世界の経済と社会についての問いに、自らの答えを出そうとする。	・イギリス産業革命、アメリカ独立戦争 ・フランス革命とウィーン体制 ・南北戦争とラテンアメリカ ・オスマン帝国とロシア ・アヘン戦争と黒船来航、江戸幕府の滅亡 ・教科書、演習ノート、資料集	【知識・技能】 ・18世紀とその前後の世界の経済と社会を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・18世紀とその前後の世界の経済と社会を多面的・多角的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・18世紀とその前後の世界の経済と社会についての問いに、自らの答えを出そうとすることができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	第3章欧米諸国と日本の国民国家形成 【知識及び技能】 ・19世紀後半の日本と欧米諸国の関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・19世紀後半日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・19世紀後半の欧米諸国と日本との関連に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・欧州各国の統一 ・明治維新 ・明治初期の外交 ・自由民権運動と大日本帝国憲法 ・教科書、演習ノート、資料集	【知識・技能】 ・19世紀後半の日本と欧米諸国の関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・19世紀後半日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・19世紀後半の欧米諸国と日本との関連に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うことができる。	○	○	○	8
	第4章帝国主義の時代 【知識及び技能】 ・19世紀から20世紀初頭のアジアの経済と社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・19世紀から20世紀初頭の日本における政治の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・帝国主義 ・日清・日露戦争 ・日本の産業革命 ・教科書、演習ノート、資料集	【知識・技能】 ・19世紀から20世紀初頭のアジアの経済と社会を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・19世紀から20世紀初頭の日本における政治の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	第5章第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 ・能力戦と第一次世界大戦後の国際協定期体制を理解する。 ・大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題を設定し、第一次世界大戦の性格と特徴、日本とアジア及び太平洋地域間の関係や国際協定期体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・第一次世界大戦 ・ロシア革命、ソ連 ・米騒動 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・教科書、演習ノート、資料集	【知識・技能】 ・能力戦と第一次世界大戦後の国際協定期体制を理解できる。 ・大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・主題を設定し、第一次世界大戦の性格と特徴、日本とアジア及び太平洋地域間の関係や国際協定期体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第6章経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 ・国際協定期体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題を設定して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協定期体制の動揺の要因、第二次世界大戦について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・世界恐慌とヴァルサス ・満州事変と日中戦争 ・第二次世界大戦 ・国際連合、日本国憲法 ・朝鮮戦争 ・教科書、演習ノート、資料集	【知識・技能】 ・国際協定期体制の動揺を理解できる。 ・第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・主題を設定して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協定期体制の動揺の要因、第二次世界大戦について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

3 学 期	第7章冷戦と植民地化 【知識及び技能】 ・国際政治の変容を理解する。 ・世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなど多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・第二次大戦後の変化、戦後の新たな秩序、諸問題に対し粘り強く取り組む。	・植民地の独立 ・東西冷戦 ・高度経済成長 ・教科書、演習ノート、資料集	【知識・技能】 ・国際政治の変容を理解できる。 ・世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなど多面的・多角的に考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・第二次大戦後の変化、戦後の新たな秩序、諸問題に対し粘り強く取り組むことができる。	○	○	○	6
	第8章多極化する世界 【知識及び技能】 ・市場経済の変容と課題を理解している。 ・冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、諸問題に対し粘り強く取り組む。	・石油危機 ・緊張緩和 ・日本の経済大国化 ・教科書、演習ノート、資料集	【知識・技能】 ・市場経済の変容と課題を理解している。 ・冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。 【思考・判断・表現】 ・日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、諸問題に対し粘り強く取り組むことができる。	○	○	○	6
	第9章グローバル化と現代世界 【知識及び技能】 ・歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚。我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・地域紛争と対立 ・国際秩序の変容 ・教科書、演習ノート、資料集	【知識・技能】 ・歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解できる。 【思考・判断・表現】 ・主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚。我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
							76